



Project Based Learning Exhibition 2012

会期

2013年4月3日(水) - 8日(月)

平日 9:00 - 20:30

土曜 9:00 - 17:00

(日曜休館/初日・最終日は17時まで)

会場

多摩美術大学八王子キャンパス
図書館アーケードギャラリー

JR横浜線・京王相模原線橋本駅北口から、
神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」で約8分。
またはJR八王子駅南口から京王バスで約20分。

主催

多摩美術大学 PBL委員会

192 - 0394 東京都八王子市鎌水2 - 1723

Tel 042 - 676 - 8611 Fax 042 - 676 - 2935

協力

ARTSAT Project / FabLab渋谷 / JAXA OPEN API PROJECT
Radiation-Watch.org / アートラボはしもと
株式会社インクス / 株式会社竹尾 / 合同会社ドール
ソフトバンクテレコム株式会社 / 多摩美術大学CMTEL
東京大学 / 日本赤十字社東京都赤十字血液センター
フィスラージャパン株式会社 (アルファベット・五十音順)





テキスタイルデザイン専攻

[01] バナナ・テキスタイル入門ー素材研究！
バナナテキスタイルプロジェクトを理解するための演習を行う基本講座。バナナ繊維を中心に未利用繊維の素材開発の方法について学ぶ。実習と専門家によるレクチャーを通して環境問題とデザインに関する考えを深める。原料素材とその背景、文化・環境の関係についてバナナ繊維を通して見ていく。

[02] バナナ・テキスタイルー紙からの造形
バナナ繊維およびその他の未利用繊維資源を利用して紙の材料をつくる。さらにその紙を利用して各自の専門領域の作品を構想し実現させる。未利用繊維による紙をどのように独自の制作に取り入れることができるかを考察し、造形の可能性を追求することを目標とする。

[03] バナナ・テキスタイルー素材と制作技術
バナナ・テキスタイル・プロジェクト及び地球環境問題を踏まえ、未利用繊維であるバナナ繊維の利用価値を考える。実際に原木から触ることで、素材から始まるものづくりを体で感じ、染織技法を中心とした作品制作に展開する。

[04] 環境ワークショップ演習
環境問題を考えることを通じて、環境をテーマとしたワークショップを企画し実施する。ワークショップの組み立てに学生が積極的に参画することで、企画・プレゼンテーション・コミュニケーション能力を鍛える。

[05] サステナブルデザイナー村一品プロジェクト
この授業では持続可能な社会をデザインするための試みとして一村一品プロジェクトを実施する。一村一品プロジェクトとは、ある地域の生物資源や工芸技術を有効利用した特徴あるプロダクトを企画・デザイン・制作し販売した利益を地域社会に還元するものである。受講生の自主的な行動力とマーケティング、コミュニケーション能力を鍛える。

[06] サステナブルデザイン演習
地球環境とこれからのデザインについて考える。環境とものづくりの関係、サステナブルの考え方。様々な気付きやアウトプットの機会を持ち、それぞれの考えを言語化し発表できるようにする。学生がそれぞれの専門分野で制作活動を行う際の、発想の基準のようなものを得ることを目指す。



芸術学科

[07] 文化演出の現在！
ここで行うことは、単に展覧会を企画・構成する、あるいは単に展覧会について学習することを目的とするものではない。理論・制作・実施といった諸力がいかに「展覧会」というものを構築するかを実践のなかで考察する。

[08] プレゼンテーション演習
自らの表現についてのプレゼンテーションの能力を養うことを主眼とし、その方法論を受講者相互で発見することを目的としている。社会で通用する企画書を実際に作成し、プレゼンテーションを行うことで自分の作品の把握と実践的な力を身につけることを目的とする。

環境デザイン学科

[09] 日常でのいのちの意味を問うプロジェクト
社会における自らの存在意義への問いが、モノでも金でも名誉でもない文字通りのかけがえのない人道支援という行為に繋がっているといえるだろう。人道支援というジャンルに対してアーティスト・デザイナーとして、トコトン考え抜き、答えを出していきたい。

[10] FisslerJapanの新たなターゲット開拓
先進的なドイツの鍋メーカーである Fissler 社の商品やショップの見せ方・売り方のビジュアルプレゼンテーションを行なうプロジェクト。POP からパッケージ・ディスプレイ・什器・ショーウィンドウまで、幅広い、戦略的で斬新なアイデアを期待されている。

情報デザイン学科

[11] iTamabi : 衛星芸術用 iPhone アプリの開発
iPhone/iPad アプリの開発手法を学び、独自の機能を活用したソフトウェア・アートを制作する。今年度は衛星からのデータを取得する ARTSAT API を用いた、衛星芸術用のアプリの制作にチャレンジした。

[12] 放射線を測る・知る・デザインする
人間には知覚できない放射線を「測る」ところから出発し、身の回りに遍在する放射線の特徴や分布について「知り」、放射線と共に生活していく方法を「デザインする」ことで、今の時代の放射線リテラシーを考える。

[13] FabSchool Tamabi 2012
3D プリンタやカッティングマシンの使用法を実践的に学ぶことを通じて、情報と物質が結びついた、新たなものづくりの可能性を探る。3D プリンタの造形を通じて、ディスプレイ内のデータが物体となり手で触られる時に何が起るのかを体験する。

[14] ARTSAT : 衛星芸術「制作 & パフォーマンス」
2014 年に打上げ予定の、世界初の芸術衛星「INVADER」を念頭に置きながら、衛星からのデータや電波を活用した衛星芸術作品やパフォーマンスのプロトタイプを制作する。授業期間中に、「アートラボはしもと」で展示を行った。

グラフィックデザイン学科

[15] パッケージデザイン基礎
前期では、包む・保護する・運ぶ・魅せる などのパッケージデザインの基本をケーススタディを通して理解した上で、演習、課題制作。後期は、前期に学んだ基礎を基に、ギフトパッケージをテーマにした課題制作を行い、パッケージデザインに対する発想力・構成力・表現力の向上を目指す。



社会とつながる！

Project Based Learning
多摩美術大学では、2006 年度からプロジェクトに参加しながら学ぶ実践型・参加型のデザイン教育として、PBL (project-based learning) 科目を開講しています。この「PBL 科目」は、文部科学省の支援プログラムに採択されたプロジェクトや、地域社会・企業との共同プロジェクトがもたらす「教育力」を正規のカリ

キュラムに導入しています。学生に生きた知恵やデザインを学ばせるとともに、現場に学ぶ視点を育み、学科の専門領域を超えたコラボレーションによる実践的な問題点の発見・解決能力など、学生の総合的人間力を養成することを目的としています。